

「Better Eyesight・1923年5月号から」

「Teach Others」

「他の人に教えなさい」

算数を教えている時に、本当に学ぶのは教えている自分なのだと思いと多くの数学の先生達が私に云いました。説教をする牧師の幾人もが、その恩恵の大部分を受けとるのは話をした本人であろうと述懐しました。

処方された通りに数年間をメガネなしで快適に過ごした私の患者達は、他の人達を助ける喜びを多かれ少なかれ味わっています。どのようなスウィングの仕方があなたの目を良くしたかを理解した時に、誰かにその方法を教えなさい。もしあなたがパーミングの良い効果を発見したら、あなたの友人の中でも同じようなパーミングをして目の良くなった人が幾人いるかを見付けて下さい。

けれども、あなたの以前の指導で良くならなかった人に会ったら、その人を助けると同時に、あなた自身の目を更に良くする機会になります。

あなたは目を閉じることは簡単だと思います、30分かそこら目を休めると、休んだことで視力が向上したとあなたには分ります。けれども、人のよっては目を閉じて休んでも、それと分るほどに視力の向上しない人達もいます。

視力向上に失敗する多くの患者達に共通した原因の一つは、視覚の記憶が不完全だからです。何故ならば彼等は目を閉じている間、目を開けた時にも、見えない状態が続くのではないかと考え過ぎます。著しく視力を向上させた大概の患者が、完全に見えた物を覚えている時は落着けると証言しています。

もし、あなたに近視の友達がいて、彼がメガネなしで近くの普通に印刷された活字を難なく読める場合は、1~2時間、説明しながらの行動で、細かい文字を見ながら彼に以下のことを証明することが出来ます。

目を凝らして小さな点をジーッと見続けることは不可能なのです、そうすると遅かれ早かれ見え方が悪くなり字がぼやけますから、結果として、その字を記憶したり、思い出したりすることが出来ません、或は、目が一か所に停止しては小さな文字を見ることが出来ないのです、結局、目は開いたままで、マバタキもせずの状態を継続すると、目は正常な映像を維持出来なくなります。